

授業改善書

科目名	書誌学
担当者	山口恭子

授業の概要

日本の古典籍についての基礎的事項を講義する。装訂の種類、写本に関する用語、古筆切と手鑑、和紙の種類、版本の歴史、江戸時代の本屋などが主なテーマである。また、古典籍を扱うに際して必要なくずし字の解読も講義のなかで行う。

授業の問題点

質問・発言が少ないということがアンケートの数値にあらわれている。たしかに、積極的に発言をする学生は多くなかった。また、授業外学習についても、アンケートの数値は高くはない。

学生の授業満足度

アンケート結果によれば、授業の満足度は低くはなかったようである。今後は、さらに充実した、また、ひとりひとりが本の文化について興味関心を広く持てるような授業となるよう努めたい。

授業改善の課題と方策

現在でも、毎時間配布するコメントカードには質問や感想が書かれており、積極的に授業に臨んでいる学生が少なくないことがうかがえる。これからは授業内によりはたらきかけるなどし、発言や質問をうながしたい。

一方、授業外学習については、期末の試験、あるいはレポート作成を視野に入れた、具体的な課題を出すようにしたい。具体例として、それらに向けた授業の復習の機会を設定することや、自主学習・考察への手引きを段階的に行うことがあげられる。このことは、学生のモチベーションを高めることにもつながるのではないかと考えている。

その他